

四季

2011.10.1

vol. **20**

S h i k i

トピックス

- ・ **金子院長 東日本大震災支援**
- ・ **山口先生、木村先生着任**



P2

トピックス

**金子院長 東日本大震災支援・
肝胆膵がんセミナー開催**

P3

新任医師紹介

山口先生、木村先生着任

P4.5

紙上クリニック

白内障手術の歴史とその進歩

P6

光生会病院事業報告

P7

総合健診センター

乳がん検査

P8

消化器内視鏡センター、先端画像センター

がん早期発見設備導入

P9

赤岩病院回復期リハビリテーション開棟

P10.11

光生会グループ紹介

赤岩荘、エバグリーン、若草



『東日本大震災』医療支援!

今回の未曾有の東日本大震災で多くの犠牲者がでました。このたび私の出身大学(自治医科大学)で設立された“東日本大震災支援プロジェクト”から要請を受け、現地で医療支援に参加してまいりました。光生会病院の院長という立場で参加したため、日常診療にご迷惑をお掛け致しました。今回の震災支援にあたりご協力頂いた関係者の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。要請を受けたのは震災発生後3日目でしたが、今ここで参加しないと一生後悔すると思ひ参加を決意しました。道元禅師の自未得度先度他(自分が救われる前に他人を救いなさいという教え)を今こそ実行すべきだと思ひで医療支援してまいりました。



光生会病院 院長
金子 哲也

私は南三陸町の被災地を後方支援する診療所で診療してきました。津波の規模は光生会病院のB病棟の詰め所(4階)までさらわれる高さでした。光生会病院と似た規模の公立志津川病院も4階まで被害を受け、5階に非難できた方々は救命されましたが自衛隊のヘリで救助されるまでの3日間水も電気もなく半数ほどの方は亡くなったそうです。被災地はまるで原爆が落ちたかのような瓦礫の山でした。避難所の生活は非常に厳しく、東北地方の方々の我慢強さには頭が下がりました。震災後3ヶ月が経過しましたが復興にはまだまだ時間がかかります。皆さんも支援の手を差し伸べて頂きたいと願っています。

今後東海地方でも地震は必発と言われています。“備えあれば憂いなし”です。当院としても地域の基幹病院として、日常の危機管理の重要性を認識し、できるだけの対策を講じる必要があると考えております。

市民公開
セミナー
開催

『肝胆膵がんの標準治療とがん免疫細胞療法』

6月25日の土曜日に豊橋市民センターカリオンビルにて、市民公開セミナー「肝胆膵がんの標準治療とがん免疫細胞療法」と題して、光生会病院 院長 金子 哲也先生が講演致しました。当セミナーは、早くから市民の方々から数多くの予約を頂き、大盛況にて終了致しました。ご参加頂いた皆様方にはお礼申し上げます。ありがとうございました。また、今後もセミナーを開催したいと考えておりますので宜しくお願い致します。



新任医師紹介

医療法人 光生会病院に新たに着任しました医師を
紹介させていただきます。



副院長
総合診療部長
山口 俊介

Syunsuke Yamaguchi

平成23年より、医療法人 光生会病院の副院長兼総合診療部長に就任致しました、山口 俊介と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

前任の三菱名古屋病院では、外科部長として多数の症例を執刀してまいりました。光生会病院では総合診療部長として、今までの経験を活かして地域の皆様のお役に立てるように頑張らせて頂きますので宜しくお願いします。

『思い出は人生を永遠のものにする。』
by Syunsuke』

略 歴

昭和60年 自治医科大学医学部卒 名古屋第一赤十字病院
平成 6年 厚生連加茂病院 医長
平成10年 名古屋大学大学院卒 犬山中央病院
平成13年 三菱名古屋病院 外科部長
平成23年 光生会病院 副院長兼総合診療部長兼任

所属学会・認定等

医学博士・日本外科学会 認定医・日本消化器外科学会 認定医・日本医師会 認定産業医・検診マンモグラフィ読影認定医



眼科部長
木村 理

Satoshi Kimura

平成23年1月より、医療法人 光生会病院の眼科常勤医として着任致しました、木村 理と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

前任の国立名古屋病院(現：独立行政法人 国立病院機構名古屋医療センター)におきましては、多数の症例を執刀しつつ、後輩医師の白内障手術指導を行って来ました。また、より難易度の高い網膜硝子体疾患に対するバックル手術・硝子体手術の研鑽を積んでおりました。

白内障を含め眼に関することで、ご心配な事がございましたら、お気軽にご相談下さい。今後とも宜しくお願い致します。

略 歴

平成 4年 岐阜大学医学部医学科卒 名古屋大学医学部大学院(眼科学)
平成 8年 小牧市民病院
平成10年 小山田記念温泉病院
平成13年 一宮市立市民病院 今伊勢分院副医長
平成14年 国立病院機構 名古屋医療センター(旧国立名古屋病院)
平成21年 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター兼任
平成23年 光生会病院 眼科部長就任

所属学会・認定等

医学博士・日本眼科学会専門医

白内障手術の歴史とその進歩

～小さな創口をめざして～

光生会病院 眼科部長 木村 理

日本眼科学会専門医 医学博士



今回は白内障手術の歴史とその進歩について、お話ししたいと思います。白内障とは眼の水晶体(レンズ)が主に加齢により濁ってくる病気です(図1参照)。手術はその濁った水晶体を除去し、代わりに透明な眼内レンズを挿入するものです。白内障手術は現代のものと思われがちですが、実はローマ時代からあったようです。それは棒で眼を突き、一撃で水晶体を硝子体(眼の奥)に落下させたようです。さぞ激痛であったでしょう。一時的には明るくはなりましたが、当然その後の経過はおもわしくなかったようです。余談ですが現代では眼外傷において、まれに同様なケースに遭遇します。

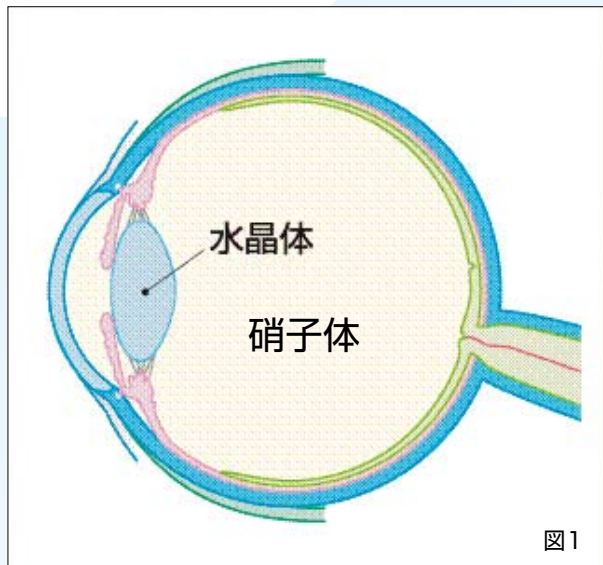


図1

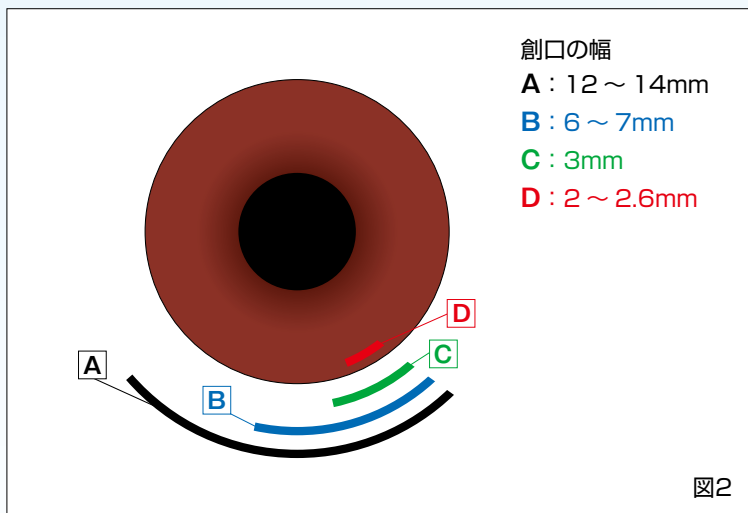


図2

さて近代的白内障手術は18世紀以降に始まり、19世紀半ばにはやっと安定した手術が編み出されました。それは白内障が黒く硬く(那智黒様)なり、末期になってから水晶体全体を一塊として取り出すものでした。その為創口は大きく、12 ~ 14mm (図2のA)必要で、術後1週間程絶対安静が必要でした。また眼内レンズも無く、術後にぶ厚い眼鏡が必要で見え方も不自然でした。



その後、眼内レンズ(自然な見え方が可能)の開発と、超音波によって水晶体を砕いて除去する手術方法が実用化され、白内障手術はここ20～30年で、急速に進歩・発展してきました。超音波で水晶体を微細に砕きますので、(一塊として取り出す創口と比べ)、創口は6～7mmとなり半分になりました(図2のB)。その為早期の視力回復が可能となりました。



近年はやわらかい素材の眼内レンズが開発され、レンズを折りたたんで眼内に挿入ができるようになりました。そのため、創口はさらに半分の3mmで済むようになりました(図2のC)。さらなる進歩として、その折りたたみ眼内レンズを円筒の中に包み込んで挿入する器具(インジェクター)が開発され、現在では創口が2.0mmから2.6mmとさらに小さくなってきました(図2のD)。最初の12～14mmと比べるとずいぶん創口は小さくなったものです。小さい創口のメリットは早期の視力回復のみならず、感染リスクや炎症の軽減・無縫合・手術時間の短縮にも寄与しております。この流れは今後も続くと思われ、極小幅の創口から行う手術も実用化は近いと思われま。

当院におきましても、最新鋭の白内障手術器械とインジェクターを使用する折りたたみ眼内レンズを採用することにより、前述しました小さな創口による最先端の手術に対応しております。お気軽に御相談ください。

光生会病院眼科は常勤の視能訓練士によるより精度の高い検査、最新機器の導入等、納得のいく診療を心掛けております。

視能訓練士 木村 長人



眼科の検査・眼鏡相談などを行っております。よろしくお願いいたします。

導入最新機器



白内障手術で水晶体を除去するための器械です。



まぶしくなく、目の奥を調べることができる器械です。

眼科

●診療受付時間

午前 8:00～12:30 午後 14:00～16:00

	月	火	水	木	金	土
午前	休診	○	○	○	○	休診
午後	休診	(手術)	○	○(第3休)	(検査)	



光生会病院 手術紹介



主な手術

外科：胃がん、大腸がん、食道がん、肝がん、
膵がん、肺がん、乳がん、鼠径ヘルニア、
胆石症、急性虫垂炎他

整形外科：骨接合術、人工骨頭挿入術、
人工関節置換術、骨軟部腫瘍切除術他

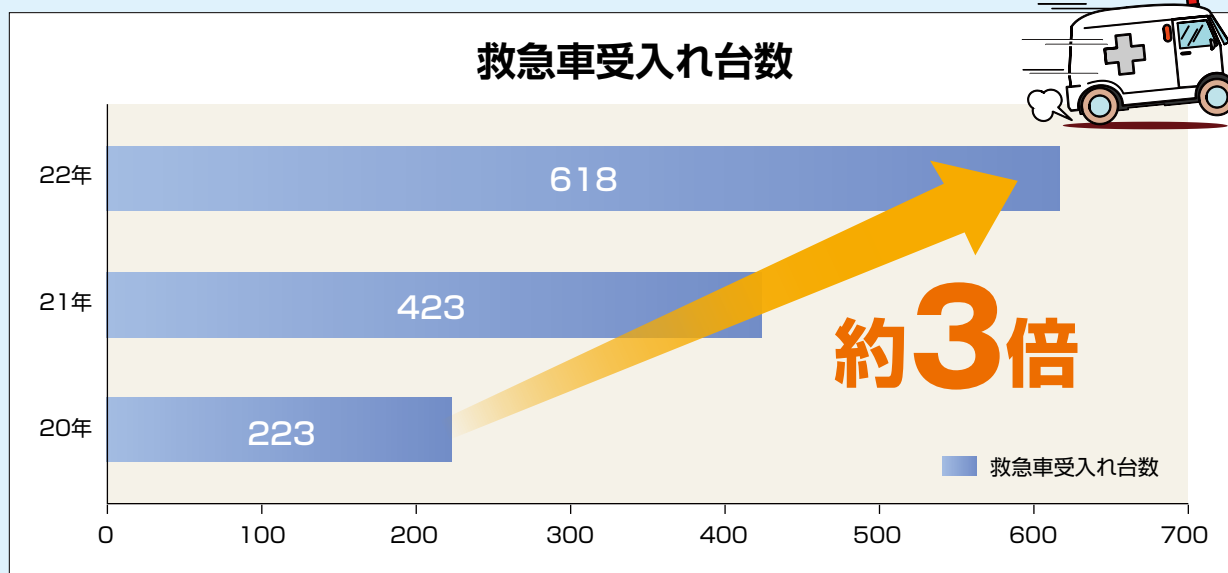


眼科：白内障、翼状片手術、眼瞼下垂手術、
眼窩内腫瘍摘出術他

光生会病院では経験豊富なスタッフが最新機器をそろえ、多種多様な手術を実施しております。

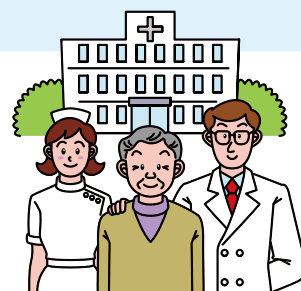


平成20年～22年 光生会病院 救急車受入れ台数



光生会病院では地域の皆様が安心して過ごして頂けるよう積極的に救急車の受入れをしております。

そのため平成22年の受入れ件数は、平成20年と比較して約3倍となっております。

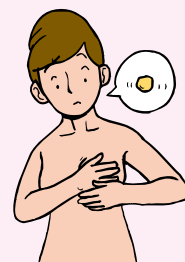


乳がん検査

当院では4名の女性技師(認定資格取得者)が検査を担当しております。

乳がんは早期発見が大切です。
早期であれば乳がんは治癒率の高い病気です。

乳房は、乳腺と脂肪組織でできています。乳がんは乳腺に異常が起こって発生します。乳がんの症状としては、しこりや乳頭からの分泌物、わきの下の腫れなどがありますが、多くの場合痛みはありません。乳がんは進行しますと、完治は容易ではありません。乳房の切除も必要になってきます。仮に手術で乳がんが治っても、乳房がなくなることは大変ショックなことです。そこで、小さなうちに乳がんを発見することが大切です。近年、乳がんの罹患率は女性のがんの中では胃がんを抜いて1位となっていますが、早期であれば乳がんは治癒率の高い病気です。



光生会病院では、乳がんの早期発見のために、3種類の検査を行うことができます。

1

触診

乳腺に異常がないか、乳房やわきの下を手で触れて調べます。

2

エコー検査

乳房に超音波を当てて、内部を調べます。安全で痛みもありません。乳がんのほかに、のう胞、乳腺症なども判ります。

3

マンモグラフィ検査

触っても判らないような早期のがんや、しこりを作らない非常に小さながんを見つけることができます。



マンモグラフィ

! こんな方は要注意!
 1つでも当てはまる方は、早めの検査をお勧めします。

- 40才以上
- 血縁者に乳がんの方がいる
- 太っている(標準体重より20%以上)
- 今までに乳房の病気をしたことがある
- 30才以上で未婚
- 初産が30才以上

●検査のお申込み

- ◎ 健康診断に追加→総合健診センター受付へ
- ◎ 外来診察に追加→各科医師へ

●検査料金

触診のみを健診に追加する場合は1,050円です。検査の組み合わせなどで料金が異なります。詳しくは、光生会病院「総合健診センター」までお気軽にお問い合わせください。
 フリーダイヤル 0120-61-3036



当院ではピンクリボン運動に積極的に参加しています。

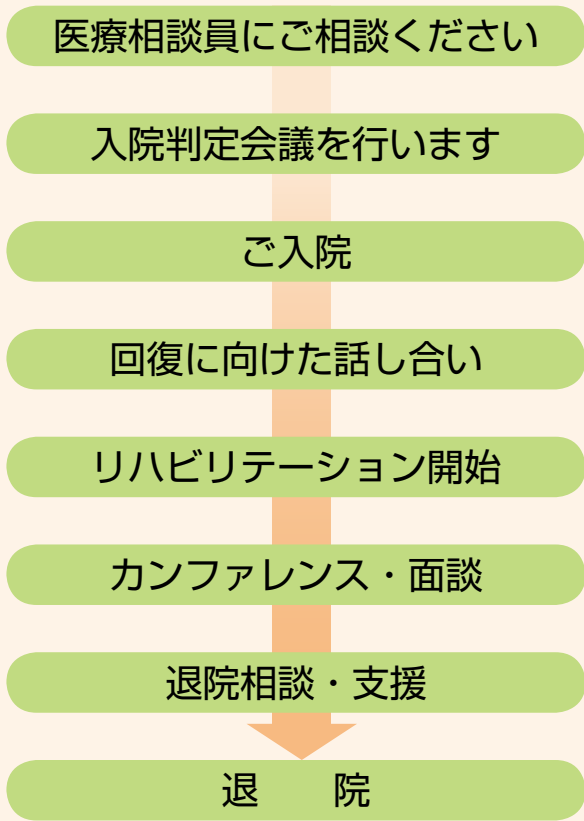
回復期リハビリテーション開棟のご案内

この度、2011年9月より赤岩病院にて回復期リハビリテーション病棟を開棟いたしました。回復期リハビリテーションとは、脳卒中や骨折等により日常生活で介助や介護が必要となった患者様に、ご自宅や社会に戻ることを目標として、早期かつ集中的にリハビリテーションを行う病棟です。365日休むことなく充実した訓練を提供致します。

◎退院に向けての取り組み

入院中は医師、看護師、介護士、歯科衛生士、リハビリスタッフ、医療相談員等の専門職種が退院計画に基づいたチームアプローチを行います。

◎入院から退院までの流れ



理学療法



作業療法



言語療法

◎入院対象となる患者様

	対象疾患	発症からの期間	入院可能期間
①	脳血管疾患、脊髄疾患等の発症後又は手術後2ヶ月以内の状態	2ヶ月以内	150日以内
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害重度の頸髄損傷、頭部外傷を伴う多部位外傷	2ヶ月以内	180日以内
②	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節等の骨折、二肢以上の多発骨折又は手術後2ヶ月以内の状態	2ヶ月以内	90日以内
③	外科的手術又は肺炎など治療時の安静によるもの	2ヶ月以内	90日以内
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節等の骨折の神経・筋又は靭帯損傷後	1ヶ月以内	60日以内

介護老人保健施設

赤岩荘

常に利用者様主体の
質の高い介護サービスの提供を心がけ、
利用者さまのニーズにきめ細かく応える施設です。



楽しい生活リハビリで家庭復帰を目指して

介護老人保健施設「赤岩荘」は、ご自宅での療養生活に不安をお持ちの方や、退院後ご自宅での生活に自信の持てない方、あるいは認知症でお困りの方にご利用いただけます。一日も早くご家庭に復帰できるように、医師や各専門スタッフによる看護・介護・リハビリ等を通じて日常生活のお手伝いをいたします。また、利用者さまの心身機能の低下を防止し、ご家族の介護負担の軽減をはかるためのデイケア(通所リハビリ)やショートステイ(短期入所療養介護)のサービスもあります。



赤岩荘ケアプランセンター

介護保険のことなら何でもご相談ください。介護保険申請手続きから訪問調査まで、全て無料で行っています。
TEL.(0532)66-0002

赤岩荘地域包括支援センター

高齢者福祉のことなら何でもご相談ください。(相談無料)
TEL.(0532)66-1262



- 施設長…………… 渡辺晃祥
- 入所人数…………… 定員90名(ショートステイ空室利用)
- デイケア(通所リハ)…… 定員45名
- 所在地…………… 〒440-0021 豊橋市多米町字大門10
TEL.(0532)66-1123
FAX.(0532)66-1126
- メールアドレス…………… akaiwaso@sala.or.jp
- 開設…………… 平成5年4月

デイサービス／グループホーム

デイサービス／グループホーム エバグリーン

デイサービスでは日常生活を送る上で、介護や支援、二次予防を必要とされる方に対し、日帰りで入浴、食事、機能訓練等のサービスを提供しております。現在、ご希望に合わせて、朝7時半から夕食後までご利用いただけます。

グループホームでは27名の利用者様が、家庭的な雰囲気の中で生活されています。日々の赤岩寺への参拝や近隣への散歩、家事、買い物や農作業など、日常の生活を楽しまれています。

桜の満開を迎えた4月には、福祉部門の一大行事である合同桜祭りが行われました。地域の方も多数ご参加頂き、大変盛り上がりました。売上金と会場で集まった募金は義援金として被災地に寄付させていただきました。皆様のご協力まことにありがとうございました。

5月には皐月祭りをおこない、舞踊や職員による落語で楽しめました。

今後も日々の暮らしの中で季節を感じていただき、心に残る企画を考えていきたいと思っております。



デイサービスセンター若草

各種教室

「若草」ではレクリエーションの一環として、地域から先生をお招きし、書道教室、生花教室、切り紙教室、工芸盆栽の各個別教室や、集団での詩吟、歌謡、折り紙、民謡等の教室が行われています。

個別教室では先生方のご指導により、素晴らしい作品が出来上がり、施設内での展示の他、地区市民館祭りへの出展もしています。



機能訓練

希望者には、より充実した訓練が提供できるよう施設の2階にリハビリ室を設け、落ち着いた環境の中で機能訓練に取り組んでいます。機能訓練指導員が利用者様の要望を踏まえたうえで、身体機能の維持・向上を目指し、最適なプログラムの提供を心掛けています。





HOSPITAL



光生会病院

〒440-0045 豊橋市吾妻町137
TEL.(0532)61-3166 FAX.(0532)63-5407
地域医療連携室
TEL.(0532)61-3213 FAX.(0532)62-6770

総合健診センター

〒440-0045 豊橋市吾妻町137
フリーダイヤル.0120-61-3036
TEL.(0532)61-3000 FAX.(0532)61-2962
メールアドレス kenshin@kouseikai-hp.or.jp

消化器内視鏡センター

〒440-0045 豊橋市吾妻町137
TEL.(0532)61-3166代表 FAX.(0532)69-3635
メールアドレス gastro@kouseikai-hp.or.jp

先端画像センター(PETセンター)

〒440-0045 豊橋市吾妻町137
TEL.(0532)62-2262 FAX.(0532)62-2140
メールアドレス pet@kouseikai-hp.or.jp



赤岩病院

〒440-0021 豊橋市多米町字蜷川33-70
TEL.(0532)62-2105 FAX.(0532)63-4170
メールアドレス akaiwa@kouseikai-hp.or.jp

CARING CENTER



介護老人保健施設 赤岩荘

〒440-0021 豊橋市多米町字大門10
TEL.(0532)66-1123 FAX.(0532)66-1126
メールアドレス akaiwaso@sala.or.jp

赤岩荘デイケア(通所リハビリテーション)

〒440-0021 豊橋市多米町字大門10
TEL.(0532)66-1220 FAX.(0532)66-1126

赤岩荘ケアプランセンター

〒440-0021 豊橋市多米町字大門10
TEL.(0532)66-0002 FAX.(0532)66-1126
メールアドレス akaiwaso-care@kouseikai-hp.or.jp

赤岩荘地域包括支援センター

〒440-0021 豊橋市多米町字大門10
TEL.(0532)66-1262 FAX.(0532)66-1126
メールアドレス akaiwaso-houkatsu@kouseikai-hp.or.jp

デイサービス/グループホーム エバグリーン

〒440-0021 豊橋市多米町字大門10
TEL.(0532)62-4434 FAX.(0532)62-4691
メールアドレス ever@kouseikai-hp.or.jp

デイサービスセンター若草

〒440-0066 豊橋市東田町133番地1
TEL.(0532)61-8066 FAX.(0532)61-8110
メールアドレス wakakusa@kouseikai-hp.or.jp

若草ケアプランセンター

〒440-0066 豊橋市東田町133番地1
TEL.(0532)61-7241 FAX.(0532)61-8110

